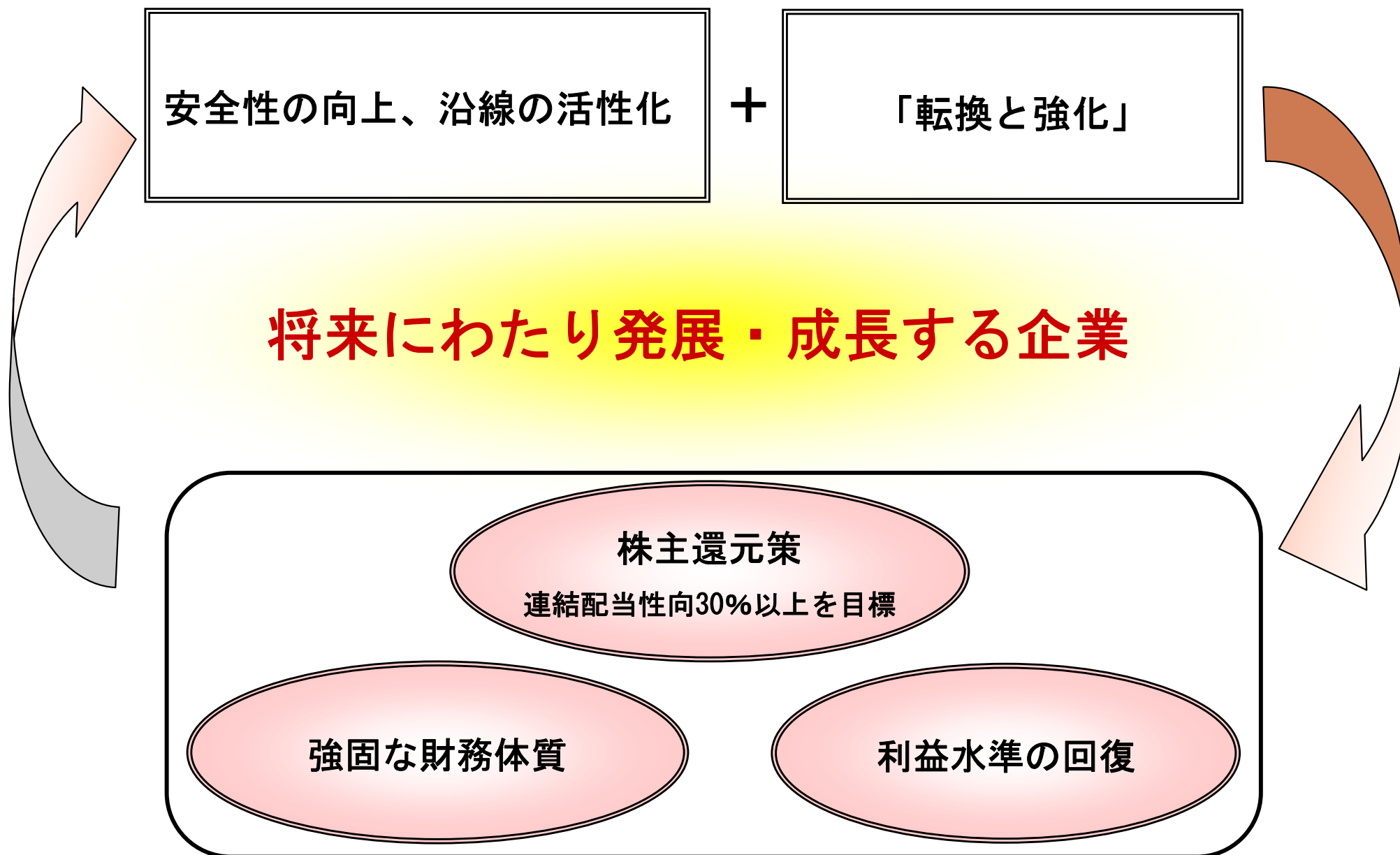

Ⅱ. 連結中期5カ年経営計画 (2010～2014年度)の進捗状況

1. 中計の基本方針
2. 外部環境の変化
3. 公共輸送機関として不可欠な安全性の向上
4. 中計最終年度(2014年度)の達成見通し

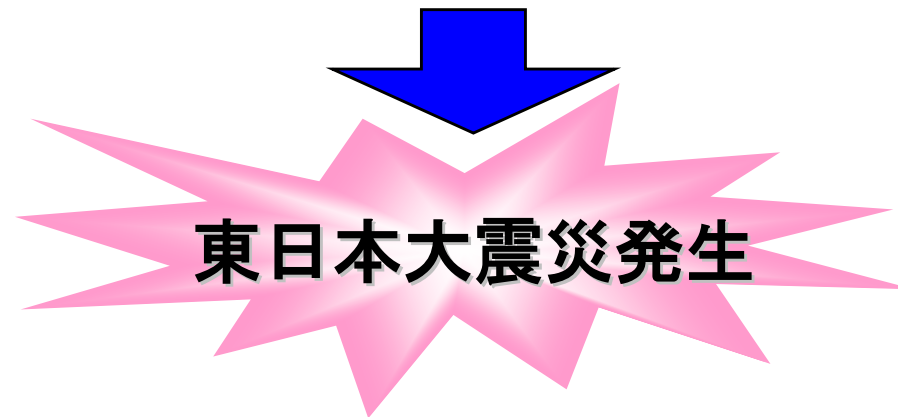
1. 中計の基本方針



2. 外部環境の変化

< 中計策定時に想定した経営環境 >

デフレの長期化、少子高齢化の進行、不透明な消費動向など



< その後の経営環境の変化 >

- ・日本経済は、東日本大震災の影響からゆるやかに持ち直しつつあるものの、依然として雇用情勢は厳しい状況
- ・欧州債務問題を起因とした金融不安や、円高、海外経済の減速による輸出の減少による景気の下押し圧力の存在

3. 公共輸送機関として不可欠な安全性の向上

< 中計期間中に実施する安全性向上への取り組み >

- ・ 調布駅付近連続立体交差事業
- ・ A T C（自動列車制御装置）の整備



< 安全性向上への社会的要請の高まり >




- ・ 東日本大震災の経験を踏まえた対策の実施
- ・ 笹塚以西の鉄道立体化
- ・ ホームドアの設置（新宿駅3番線） など


「信頼のトップブランド」を確立するために、
さらなる安全性の向上への取り組みが必要と考えている

4. 中計最終年度（2014年度）の達成見通し

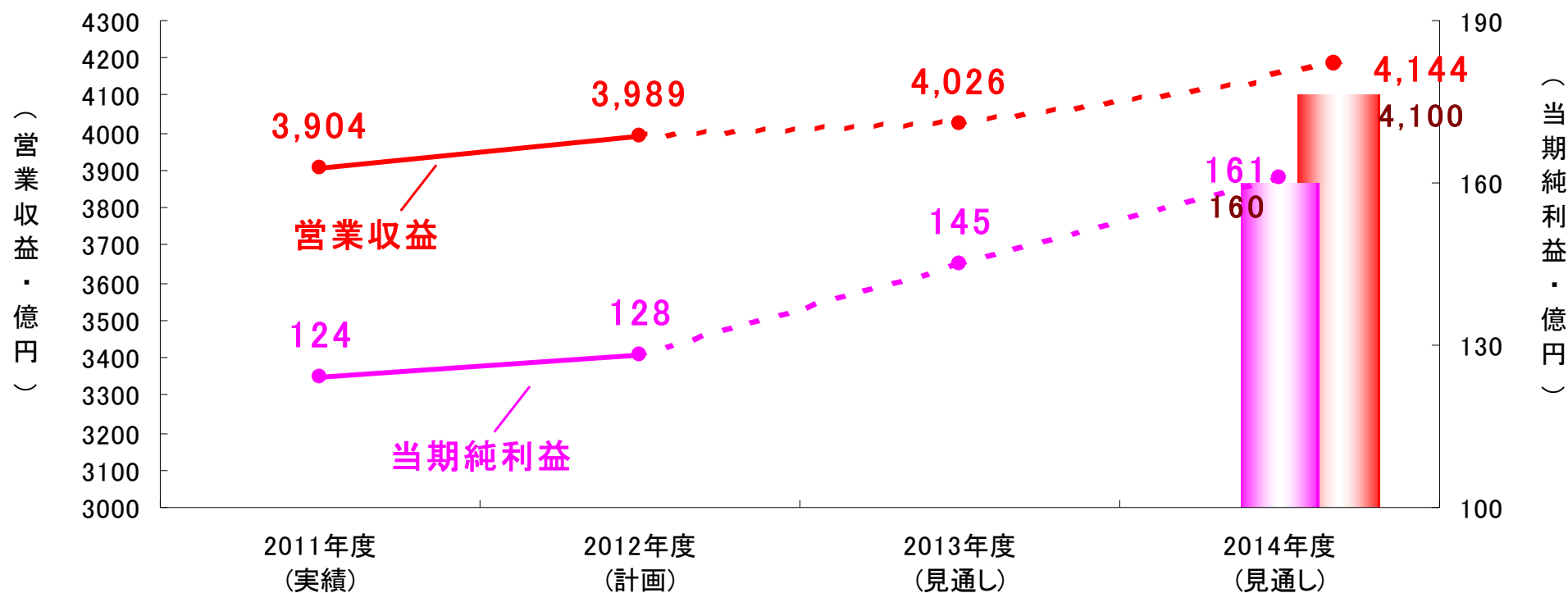
< 営業収益、当期純利益、EBITDA、有利子負債、資本的支出、減価償却費 >

（単位：億円）

	2014年度 （中計目標）	2014年度 （見通し）	達成 見通し
① 営業収益	4,100	4,144 	○
① 当期純利益	160	161 	○
② EBITDA	700	674 	△
有利子負債	3,300	3,360	○
③ 資本的支出／ 減価償却費	346／370	523／352	—

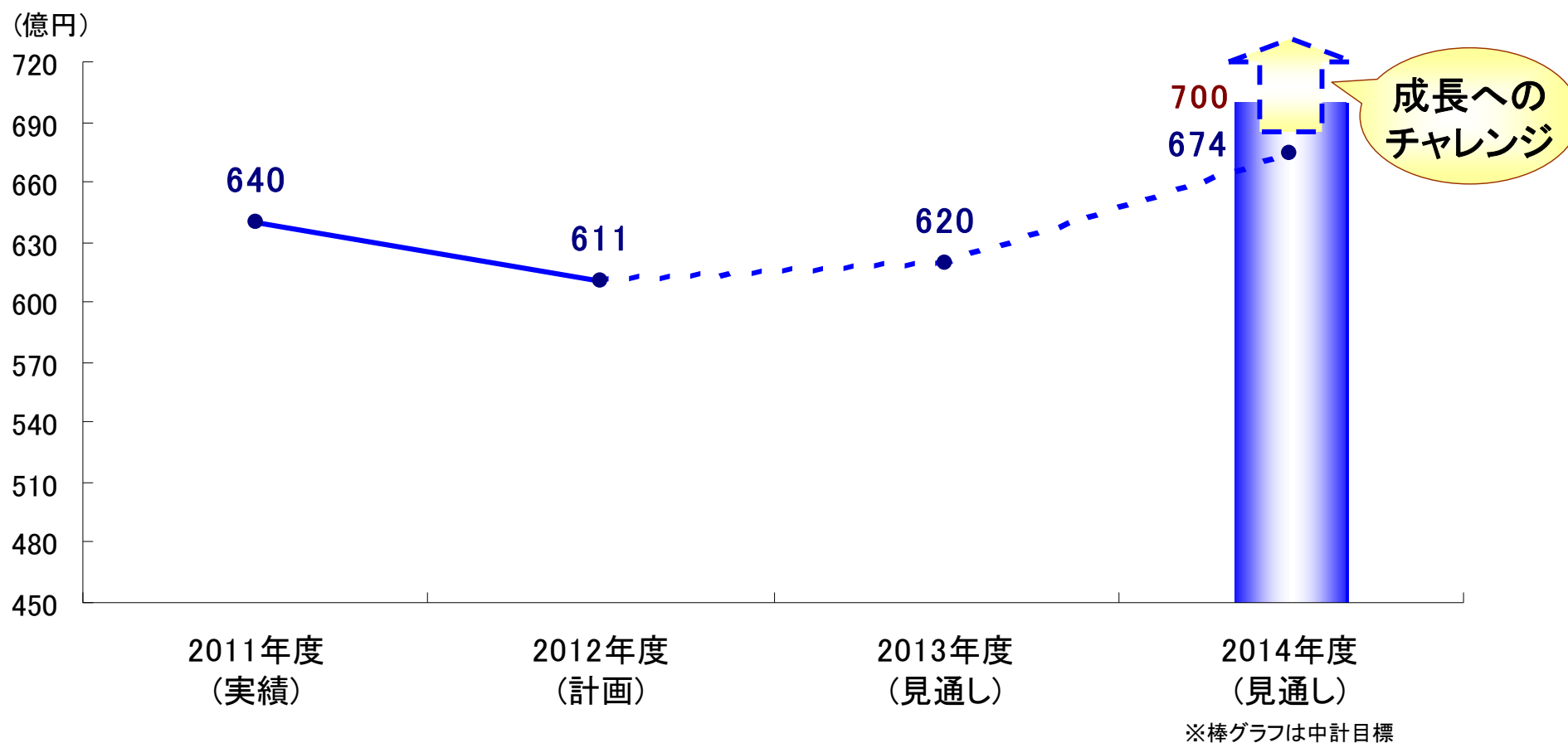
中計を確実に達成するとともに、
成長へのチャレンジによってさらなる上積みを目指す 

4. 中計最終年度（2014年度）の達成見通し 〔営業収益、当期純利益〕



外部環境の変化はあるものの、営業収益、当期純利益といった主要目標は達成の見通し

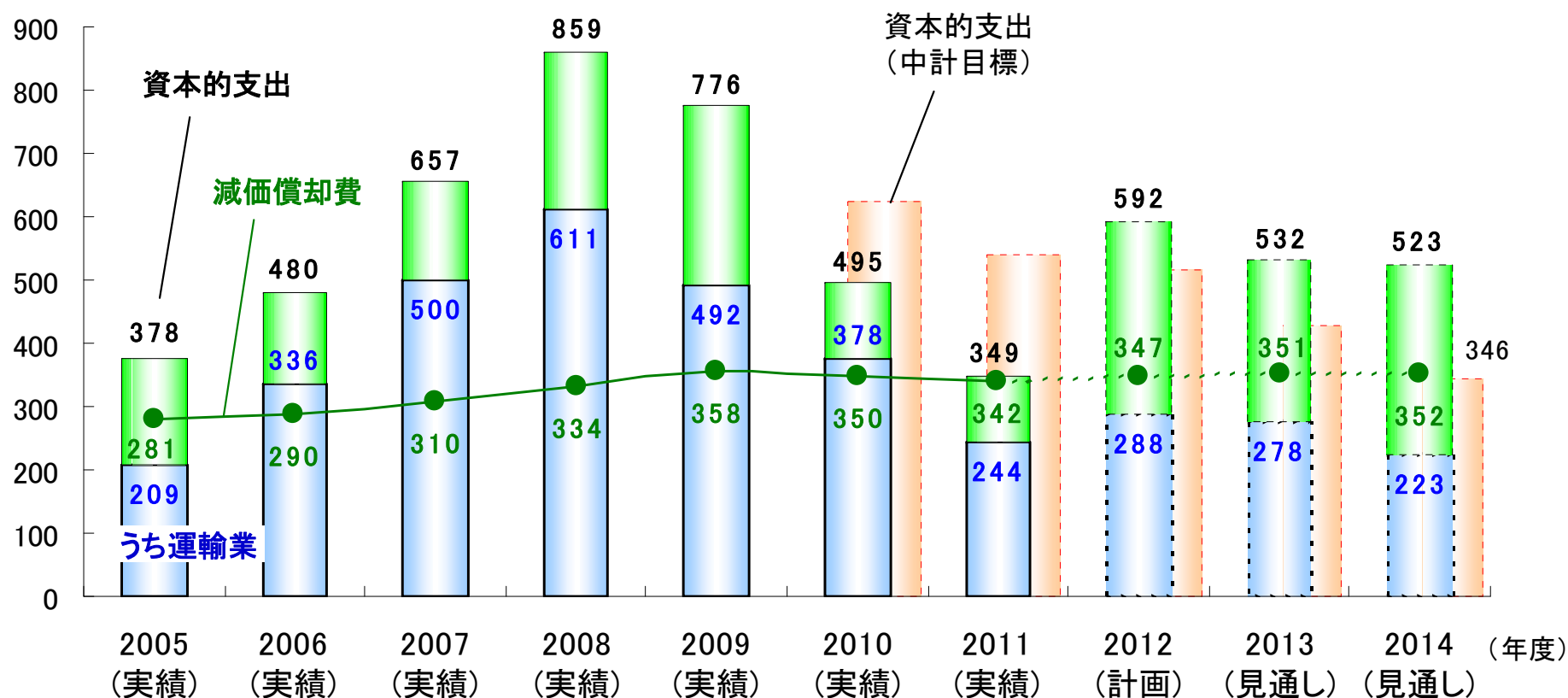
4. 中計最終年度（2014年度）の達成見通し 〔EBITDA〕



EBITDAは、新たな増収策に取り組むことで、中計目標の確実な達成を目指す

4. 中計最終年度（2014年度）の達成見通し 〔資本的支出の水準〕

（億円）



全社の資本的支出は、「さらなる安全性の向上」への取り組みを継続するほか、戦略的投資を追加する